

## 機関車コーナー

SL時代の新潟機関区の様子やSLの部品、その仕組みを展示しています。



### 気笛

笛に蒸気を送りこみ良く響くようにしています。笛の構造により「5階音」「3階音」の2種類があります。

### 中間引張棒

テンダー機関車の機関車本体と炭水車をつなぐ連結器で、けん引する客車・貨車に動力を伝えています。

### 注水器

ボイラーの圧力より強い蒸気の圧力を使い、ボイラーに水を入れる装置です。

### 水面計

運転室にあるボイラー内の水量を表示する装置です。

### ボイラー安全弁

ボイラーの蒸気圧力が上がり過ぎてボイラーが破裂などしないようにする装置です。

ボイラーの蒸気圧力が常用以上になると、ボイラーの安全保持の為に自動的に余分の蒸気を噴出し、常用圧力で噴止するように調整されています。

### 油ポンプ

機関車の蒸気室及びシリンダーには高圧な蒸気でピストン弁及びピストンが運動しているので粘度の高い油を機械的に給油する装置です。

## お召しコーナー

SL時代の新潟鉄道管理局(現新潟支社)管内でお召し列車が運行されるときは新潟機関区のSLが選ばれて使われました。

お召し列車は皇室専用列車というだけでなく、運転技術・整備技術の発表ということでも意義深いものがありました。また、選ばれた機関区にとって「ハレ」なことでした。

- D51-1107 (昭和22年 全国御巡幸)
- C57-14 (昭和36年 秋田国体)
- C57-172 (昭和39年 新潟国体)
- C57-1 (昭和47年 胎内全国植樹祭)

